

取材のお願い

石川県立伝統産業工芸館では、企画展「竹でできること」を下記の通り行います。この企画展では、竹を素材として「編む」のではない作品をご覧いただき、素材としての竹の可能性を紹介する企画展です。「アッ!」と驚き、「えっ!」と目を疑うような竹細工の作品に、「え、これ全部竹でできているの!」と驚かれることと思います。ぜひ取材して頂けますようお願い致します。

- ◆ **タイトル:** 「竹でできること」
- ◆ **開催趣旨:** 竹というどうしても「編む」というイメージが先に立ち、籠や茶箱を想像しがちだが、本企画展では、素材としての竹を取り上げ、その可能性を広く紹介することで、多くの方々にもっと竹を身近に感じてもらう事を目的としている。
- ◆ **企画展紹介:** 竹を材料として様々な情景を作り出している小澤史寛さんの作品を紹介する。民話などを題材にし、物語の1場面を切り取ったメルヘンチックな作品、昭和の時代を映した昭和レトロの作品、そして、食べ物に関する作品というようにおおよそ3つに分類できる作品群はどれもすべて材料は竹で、着色などは一切施していない。材料や制作工程についての詳しい説明パネルを展示し、制作工程についても理解を深めてもらえるよう配慮している。
- ◆ **会期:** 2014年11月27日(木) - 12月19日(金)
- ◆ **会場:** 2F 第4展示室
- ◆ **展示品:** 38点

<小澤史寛さんメッセージ>

この企画展で見て頂く作品はすべて竹を使って作ったものです。「え!」と思うものもすべて竹でできています。

! 作品の色合いは竹の種類や焼き加減で調節していますので、着色はしていません。

! 竹の持つ自然ならではの風合いを楽しんでもらえるよう工夫しています。

今回の展示作品は、主に次の3つに分類できると思います。

1. メルヘンチックな作品

擬人化した生き物を配置し、物語の一瞬をカメラに収めた感じの作品に仕上げてみました。

2. 昭和レトロの作品

見る方の想像を妨げないため、あえて人物や動物などは配置していません。作品を通して、人それぞれオリジナルの物語が心の中に出来上がれば良いなと思っています。

3. 食べ物関連の作品

美味しく見えればOK。

古来より生活に密着してきた竹細工のイメージが多少なり変わり、見て楽しんで頂ける作品に仕上がっていれば幸いです。

<小澤史寛さんプロフィール>

1960 石川県小松市生まれ

2008 ふれあい美術展 優秀部門賞

2009 ビエンナーレ 手作りフェア グランプリ

北の動物大賞展 入選

2010 ふれあい美術展 優秀部門賞

宮本三郎美術館カフェにて個展 (石川県小松市)

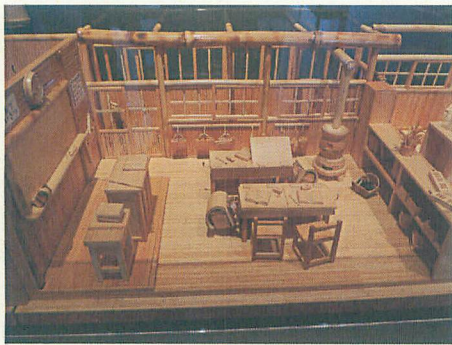
2011 「日本の夏」展 (グループ展/カナダ・リッチモンド市)

宮本三郎美術館カフェにて個展 (石川県小松市)

2013 金沢百万石まつり「盆正月」(グループ展/石川県金沢市)

2014 めざましモア展@Bunkamura (グループ展/東京・渋谷区)

現在、小松市にてアートギャラリー「ひだまり竹工房」を運営する傍ら、制作活動に励んでいる。2007年以降、テレビや書籍で多数紹介されている。



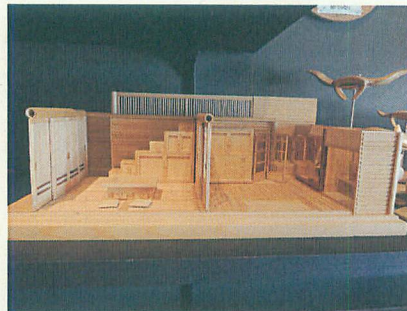
「思い出の校舎」(W 1,060mm x 350mm x H 200mm)



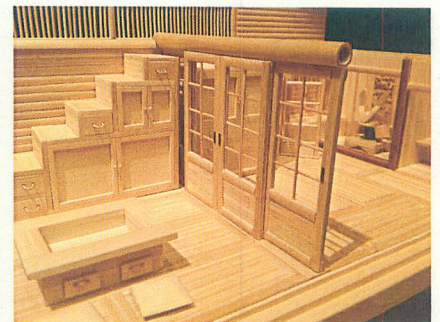
「思い出の校舎」細部



「秋～森の贈り物」(ざるの直径 300mm)



「春の町家」(W 440mm x 240mm x H 160mm)



「春の町家」細部

問合せ及び取材申し込み先：

石川県立伝統産業工芸館 <http://www.ishikawa-densankan.jp/>

TEL：076-262-2020

指定管理者ナカダ・クラフトプロジェクト

プログラム担当：館長代理 柳井 篤子

携帯 090-3470-2469 E-mail: 707@nkdinc.co.jp